

「参議院議員通常選挙アンケート2022」
の結果

信州大学教職支援センター 荒井英治郎研究室
×
テレビ信州

— 目次 —

● アンケート調査の概要

● アンケート調査の結果

● アンケート調査のまとめ

●アンケート調査の概要

アンケート調査の概要

- 調査:「参議院議員通常選挙アンケート2022」
- 実施主体:信州大学教職支援センター荒井英治郎研究室 + テレビ信州
- 調査期間:2022年6月14日-6月27日
- 調査対象:大学生365名
(信州大学、長野県立大学、長野大学、松本大学、上田女子短期大学)

アンケート調査の概要

【質問項目】

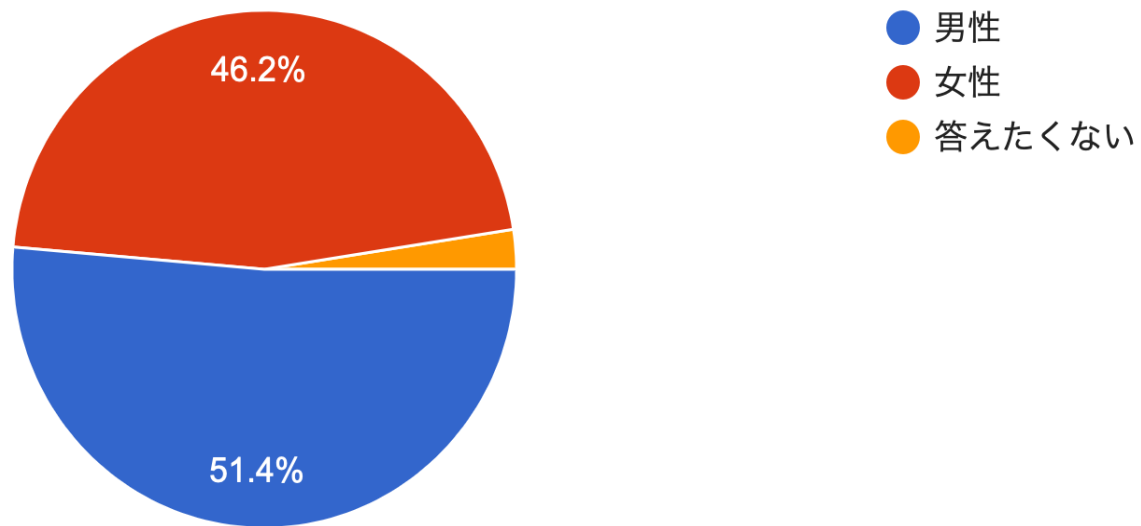
- ①あなたの「性別」を教えてください。
- ②あなたの「年齢」を教えてください。
- ③あなたは、政治に、どの程度関心がありますか。
- ④あなたは、参議院議員通常選挙(6月22日公示・7月10日投票※予定)に、どの程度関心がありますか。
- ⑤あなたが投票する際に、重視する政策や課題は何ですか(複数選択可能)。
- ⑥あなたは、岸田内閣を支持していますか。
- ⑦あなたは、どの政党を支持していますか。
- ⑧新型コロナウイルス対策でマスクを着用することについて、今後どのようにしていくのが望ましいと思いますか。1つ選んでください。
- ⑨あなたは、今後、日本が防衛力を強化することに、賛成ですか、反対ですか。
- ⑩現在の社会情勢を踏まえ、憲法を改正する必要があると思いますか。
- ⑪ロシアによるウクライナ侵攻を受け、日本はどのような立場をとるべきだと思いますか。自由に記述してください。
- ⑫政治に対するあなたの考え方や、これからの政治に期待することを自由に記述してください。

●アンケート調査の結果

①性別

あなたの「性別」を教えてください。

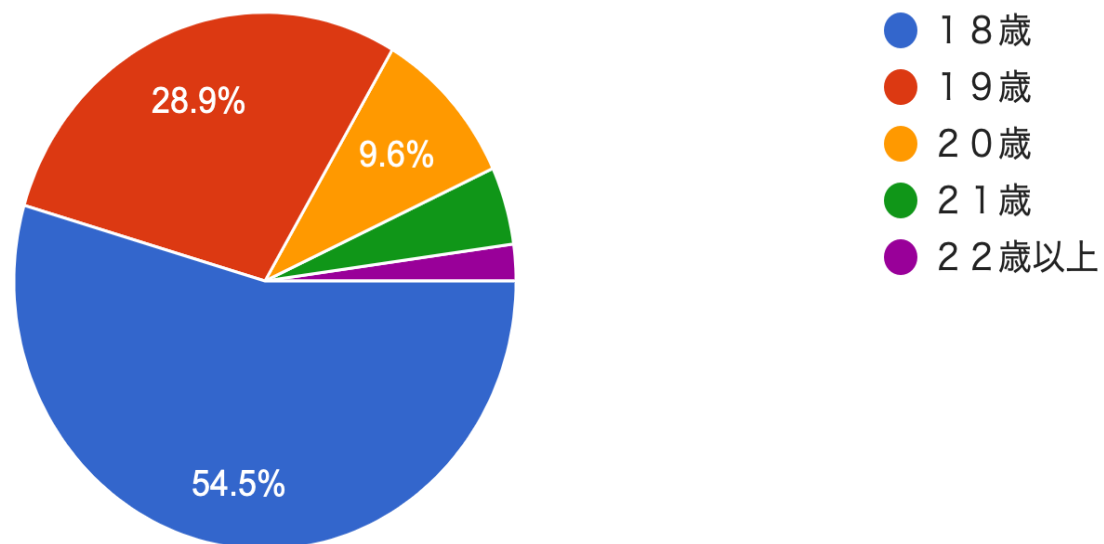
364 件の回答



②年齢

あなたの「年齢」を教えてください。

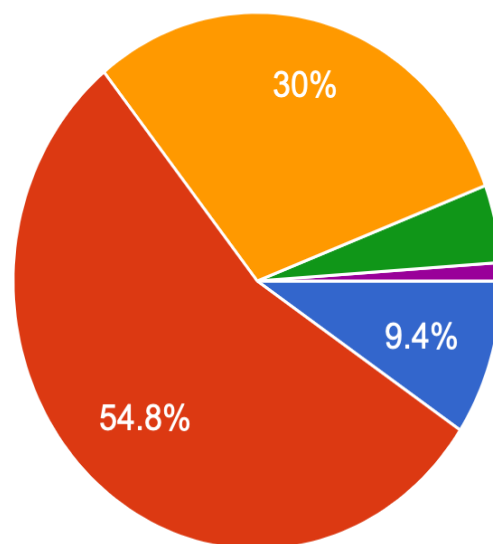
363件の回答



③政治に対する関心

あなたは、政治に、どの程度関心がありますか。

363件の回答

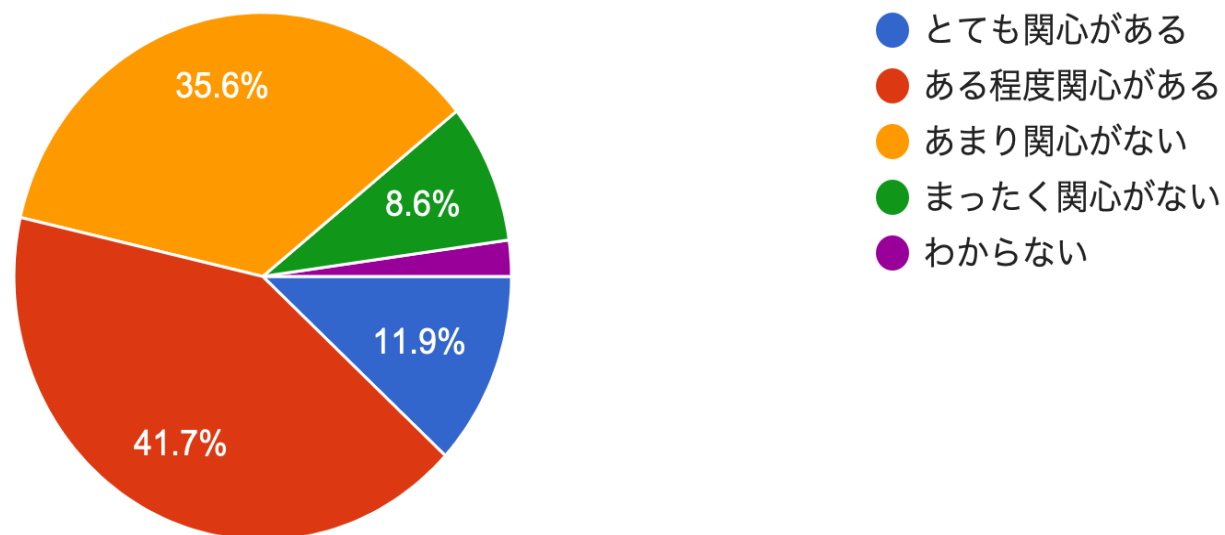


- とても関心がある
- ある程度関心がある
- あまり関心がない
- まったく関心がない
- わからない

④参議院議員通常選挙に対する関心

あなたは、参議院議員通常選挙（6月22日公示・...日投票※予定）に、どの程度関心がありますか。

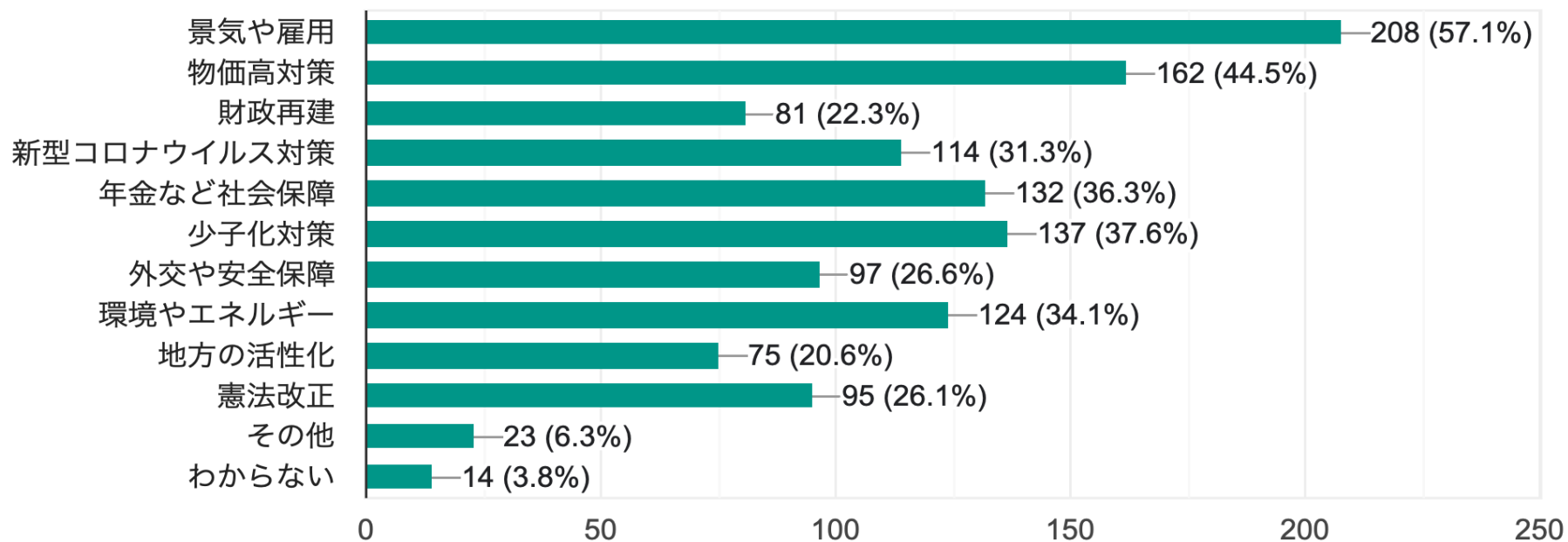
362件の回答



⑤ 重視する政策・課題

あなたが投票する際に、重視する政策や課題は何ですか（複数選択可能）

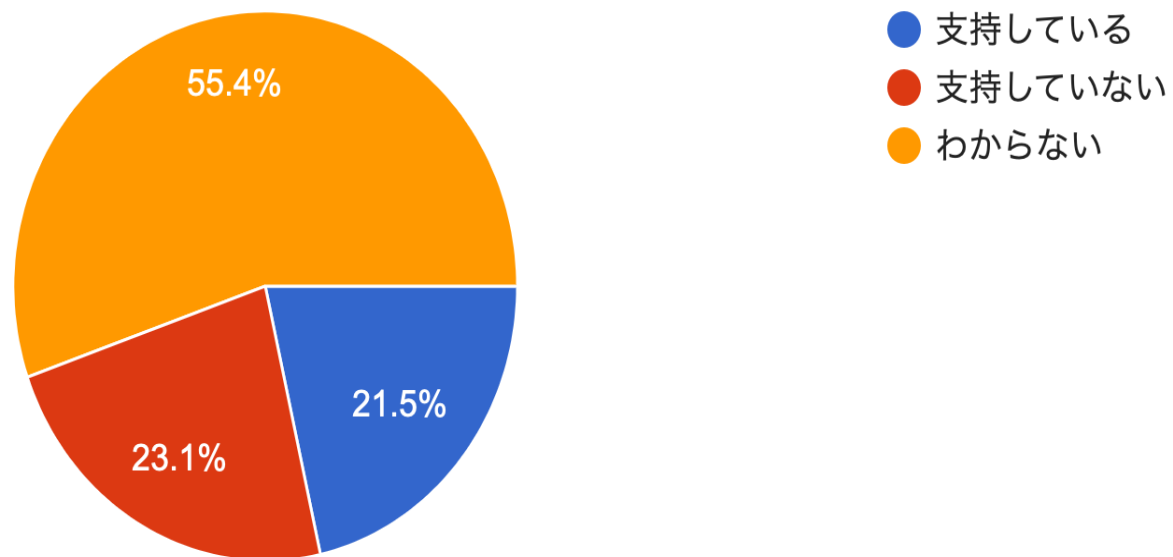
364 件の回答



⑥ 現政権に対する評価

あなたは、岸田内閣を支持していますか。

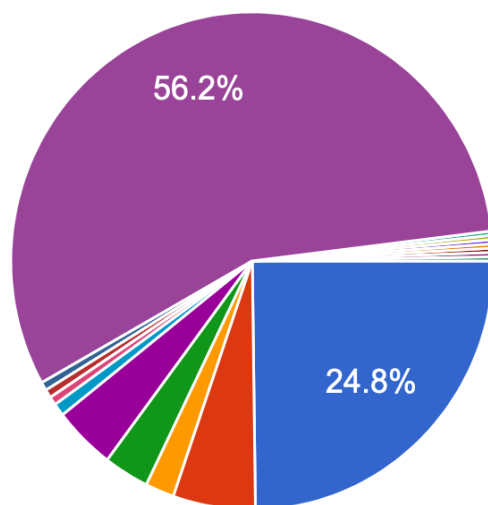
363 件の回答



⑦ 支持政党

あなたは、どの政党を支持していますか。

363 件の回答



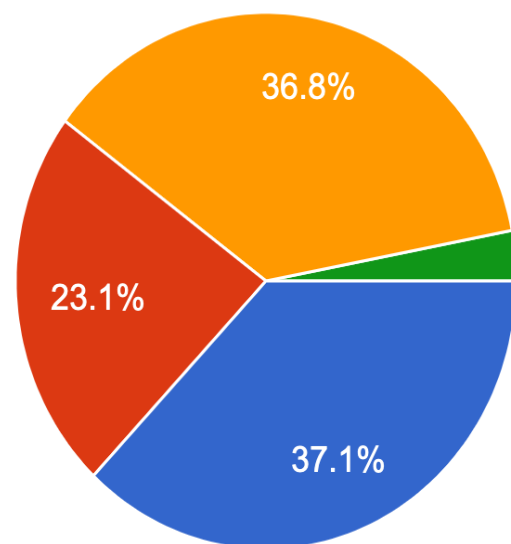
- 自由民主党
- 立憲民主党
- 公明党
- 日本維新の会
- 国民民主党
- 日本共産党
- れいわ新選組
- 社民党
- NHK党
- その他の政党
- 特に関心している政党はない (56.2%)

▲ 1/3 ▼

⑧感染症対策におけるマスク着用

新型コロナウイルス対策でマスクを着用することに...が望ましいと思いますか。1つ選んでください。

364件の回答

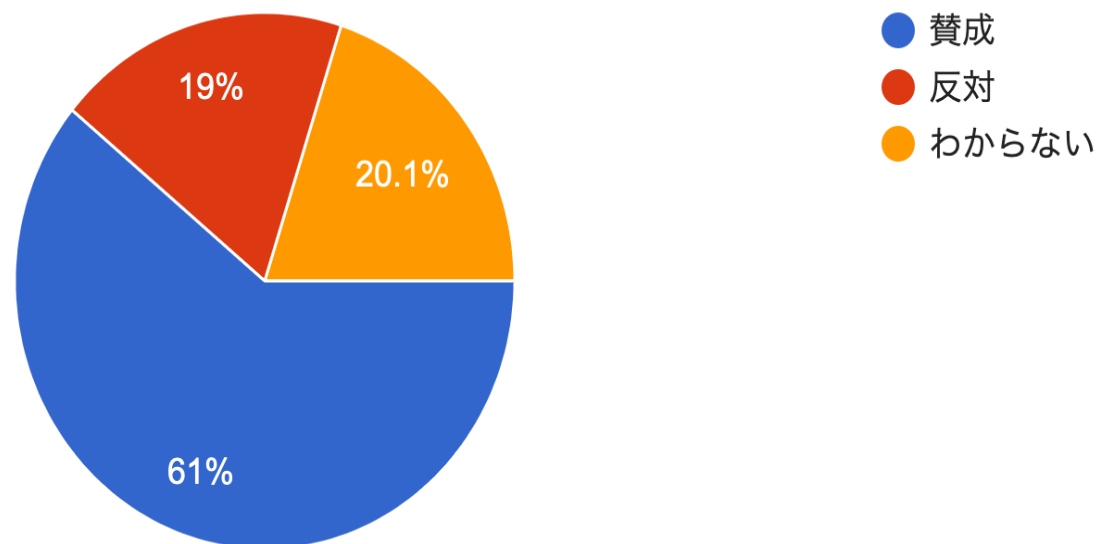


- これまでのようにできるだけ着用する...
- 海外のように着用の義務は撤廃してい...
- 個人の判断に任せるべき
- わからない

⑨防衛力の強化に対する賛否

あなたは、今後、日本が防衛力を強化することに、賛成ですか、反対ですか。

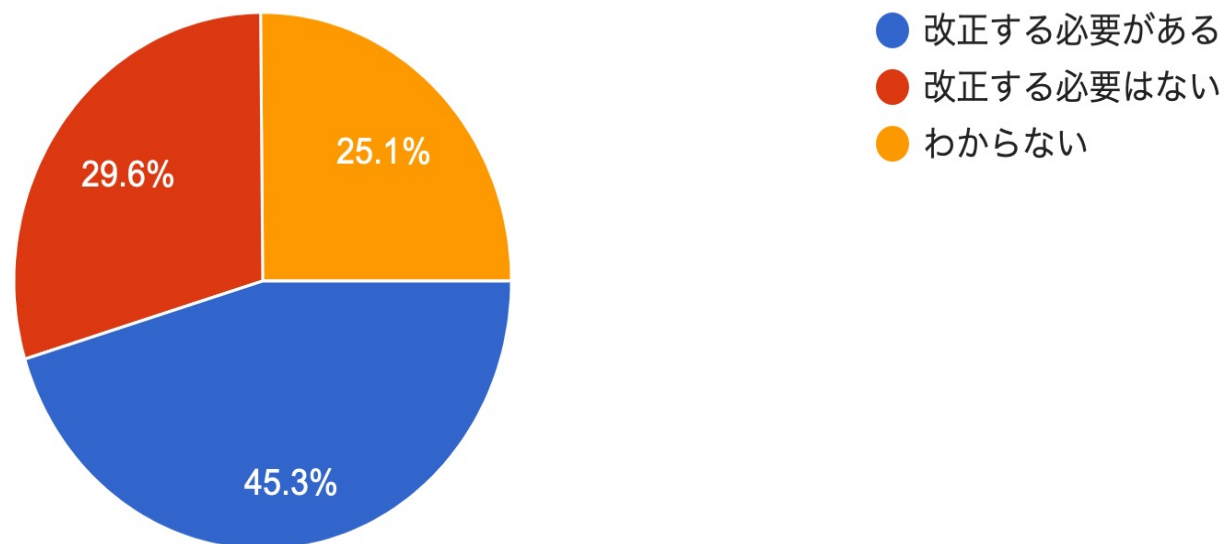
364 件の回答



⑩ 憲法改正の是非

現在の社会情勢を踏まえ、憲法を改正する必要があると思いますか。

362 件の回答



⑪ロシアのウクライナ侵攻に対する考え(自由回答・概括)

- ・巻き込まれないように最善を尽くすべき
- ・傍観者
- ・戦争反対の立場を取り続けるべき。
- ・唯一の被爆国として、武力を使うことなく平和を守る。自分たちがこれからどうしていくべきか考えるべき
- ・移民をできる限り協力的に受け入れる
- ・ウクライナ人の受け入れを積極的に行うが、必要以上に戦争に加担する必要はないと考える。
- ・軍事的な支援は避けるべきだが、他の支援は積極的にするべきだと思います。
- ・ウクライナに物資を輸出することは大事だと思うが武器につながるようなものは挙げてはいけないと思う
- ・難民の受け入れの体制をもっと強化すべき。
- ・もっとロシアに経済的な制裁を与えるべきだと思う
- ・特に介入するのではなく、防衛力の強化に励むべき
- ・NATOに入る。関係を強くするとともに防衛力も高める。
- ・日本も備えるべきだと思う。
- ・中途半端な政策をするのではなく、ロシアと対立するのであればしっかりとロシアとの関係を切るべきである。
- ・避難民の支援などのような形でサポートしていくべき
- ・防衛力が弱いからアメリカの立場をサポートする姿勢を明らかにして資金の支援などをする。
- ・個人的にはあまり関与してほしくない
- ・とりあえず核兵器を絶対使わせないぞという立場をとるべきなのではないかと思う。
- ・ウクライナへの軍事的支援をする。
- ・自分の国の防衛力をあげる前に、より避難民を受け入れやすくするなど支援を優先するべきだと思う。
- ・ロシアの侵攻は許されるべきではないので、変に中立の立場をとるのではなくしっかりとウクライナ側についてほしい。しかしウクライナの支援として武器の貸与や軍事使用されるようなものの提供ではなく、医療や移民の受け入れ、食料資源などの提供といった一般市民向けの支援に力を入れるべきだと思う。
- ・侵攻に対して強く反対する立場にいるべき

- ・ロシアとウクライナの対立に歴史的にも関わっていない立場上、何かを強く主張しても重みがないが、国際社会の一国として、戦争の継続ではなく停戦を訴える立場を続けるべきだと思う。
 - ・「周りがこう言っているから」ではなく、「日本はこう思う」という意志のもとで、ロシアに対して反対の姿勢を取るべきだと思う。それによって、血が出たとしても、ロシアのやっていることは許されることではないと思うので、毅然とした態度で臨むべきだと思う。もちろん、ロシアにも言い分があるのだろうが。
 - ・ウクライナを支援するとともに、物価が上昇したことにより困った国民と発展途上国に対して支援するべき。
 - ・すでにロシアから日本は敵対する国としてとらえられているためウクライナの支援を続けるべき。
 - ・経済支援を続ければよいと思う。
 - ・あまり干渉しなくてもよいと思う
 - ・俯瞰者
 - ・よく言えば中立の立場を取るべきだと考える。色々な意味で日本は間を取り持つことが上手い国だ。どうにか取り持ってほしいところである。
 - ・今まで以上にウクライナに対し人道支援をしていく立場をとるべきと考える
 - ・ウクライナの人々を支援するべき。
 - ・ロシアからの天然資源輸入の制限や、ウクライナへの資金援助など、武力に頼らない支援をより拡大していくべき
 - ・"今まで通り、戦争反対の姿勢を貫くべきだと思う。"
 - ・中途半端に支援をすれば、双方の反感を買う可能性がある。"
 - ・武力による制圧は許されるべきではないという立場を明確に示す。
 - ・ロシアのウクライナ侵攻は許しがたい行為であるため引き続き制裁を加えていくべきであると思う。
 - ・難民の受け入れや支援などは積極的に行なっていくべきだと思うが、日本にとってロシアも隣国である以上無闇矢鱈と首を突っ込むべきではない。
 - ・常に平和を希求し、ウクライナを支援しつつも必要以上に援護しすぎないようにするのが良いと思う。
 - ・ロシアのウクライナ侵攻については容認しない姿勢でいるべきだとは思う。しかし、単に軍事力を向上させるなどして解決を図ろうとする立場はとるべきではないと思っている。
- 武力行使を支援するべきではないと思う。できるだけ平和的に解決する道を模索するのを手伝うべきだと思う。
- ・平和のために国際社会に武力を除いてで積極的に参加する立場。
 - ・ウクライナに対する資金的支援
 - ・軍事的支援をすることは厳しいので、難民を受け入れる、支援金を送るなどの支援をするべき
 - ・中立
 - ・ロシアの味方はするべきでないと思う。
 - ・どのような立場をとるといって受け身な対応より、これによって変化する世界にどのように適応するか積極的に考える方が重要だと思う。
 - ・国際社会と足並みをそろえつつもこれを機に周辺国との関係をもう一度見直していくべき。
 - ・難民受け入れ等

・難民の救助

・まだ憲法9条の改正はされていないので、ウクライナに武器を送るかウクライナの状況を各地に知らせるよう発信していくしかないと思う。

・ウクライナ支援の立場に立つべき

・ウクライナの支援をするべき

・今まで通り、平和主義や核兵器の使用に反対していく姿勢を貫いていくべきだと思う。

・避難してくる人を受け入れる、物資の支援など。あくまで軍事的には何もしない。

・他国に侵攻されたときにされるがままにならないよう、防衛力をもっと高めていくべきだと思います。

・基本的に触らないでおくが、ウクライナ侵攻が起こったことで日本の近くで台湾と中国の関係などで何か起こると大変なので防衛力を上げておく。

・戦力的な支援はするべきでないと思います。でも、国際的な協力は大事だと思うので、可能な範囲で物資の支援はするべきだと思います。

・実際に戦争を仕掛けられたときにアメリカが加勢してくれるかはわからないが、バックにはついてきていると思うので戦争反対派に引き続きつくべきだと思う。

・今回の侵攻は第三者の視点からすれば明らかにロシアに非があるので、アメリカなどの他国と連携してロシアに制裁を加えるべきだと思う。ただ、北方領土の問題もあるので慎重にならざるを得ないと思う。

・日本もロシアと面している国の一つであるので危機感を持つべき。ロシアは明らかに侵略者であるので止めなければならないし何かしらの制裁を加えなければならない。ロシアの味方という立場にはなってはならない。国連の安保理の常任理事国であるという大国が侵略をはじめた、という出来事を重大に受け止め、国際的にも変化が必要だと思う。

・"自国だけで勝手に判断して行動しないことと、ロシアに反対するというか、戦争に反対するという立場を変えないことが1番だと思います。(将来的に戦争をするための言い訳ができてしまうから。)"

・ロシアを下手に刺激しないことだと考えます。(アメリカなどの国にとって日本がどのような利用価値があるのか正直わかりませんが)もし刺激した場合に、日本はロシアから攻撃され、(もし利用価値があったら)アメリカも黙っていないと思うので、段々世界中の国々を巻き込んだ世界戦争に発展するのではないかと考えています。

支援を続ける形で武力以外の方法で助ける立場をとるべき。

・他国から攻撃されない程度、もしくは攻撃されても侵略されない程度の防衛力を確保する必要があると思います。

・何もしないべき

・平和主義に基づいた考えに基づいて行動してほしい

・侵攻を止めようと尽力する立場

・今のうちにいろんな国と仲良くしとくべき

・戦争には参加せず物資などを提供するなど、ウクライナのバックアップをするべき

・戦争を終わらせる方向に動くべき

・戦争反対を掲げながら、諸国との連携を強化する

- ・ウクライナに気を取られているうちに北方領土を軍事的な手段を行使して奪い返せばいいと思う
 - ・ロシアに反対し、ウクライナへの支援をするような立場
 - ・NATOに寄りすぎないように距離を保ちつつ、国際機関の決定に従って行動する。
 - ・できるだけ他の国から敵視されないような対応をとるべきだと思う。
 - ・石油が高騰しようが、物価が高騰しようが、最低限日本が戦争に参加しないのであればそれでいい
 - ・できる限り中立を保つべき
 - ・ロシアとは一線を引く必要がある
 - ・経済面での制裁を加えるべきだと思うが、日本はロシアからの輸入でも生きているので行動しにくいと思う。
 - ・軍事的な力を行使することができないため経済制裁や外交を通じて侵略の手を緩めさせる。
 - ・攻撃の対応をとるのではなく各国と協力して対処をすべきだと思う。
 - ・ロシアがウクライナに侵攻したことを非難する立場を取るべき
 - ・薄情ではあるかもしれないが、どちらの見方になるわけでもなく、両国への食料や物品の支給以外のかかわりはせずに行くべきだと思う
 - ・国際平和のためにも協力的な立場にすべき。ロシアと対立しても、今のロシアはウクライナで手一杯だと思うし、アメリカ側をわざわざ敵に回すような事はしないと思うから。
- 批判的な立場を示し、他国の侵略を許さないという姿勢を示すべきだと思う。
- ・武力的な援助はせずに物資の援助を中心に行うべきだと思う。経済制裁の協力もするべきだと思う。
 - ・ウクライナに物的な支援をするべき
 - ・ロシアを牽制していくべきだと思う。また、現地への支援を行っていくべきだと思う。
 - ・"ウクライナを支援する立場
 - ・ロシアを許してはいけない"
 - ・ウクライナに物資などの面で支援する
 - ・日口関係を悪化させないようにするべき。アメリカに従属しているだけではだめだと思う。
- どちらにも干渉しない
- ・"常に、ロシア・ウクライナ問題に意識を向ける必要がある。
 - ・私たちは、この内容を忘れていけない"独立した一国家の主権を守る事の出来る体制作りを、他国と協力して構築していくべきだと思う。
- "中立 どちらにも理解を示さないというのは時代に即していないと思う。"
- ・世界が平和になるように行動する立場に立つべき。ロシアが怖いからそっちにつくとかもしだしたら日本は終わりだと思う。
 - ・日本への軍事的な攻撃がないようにロシアとの距離を保ちつつ、ウクライナへの支援を続ける。
 - ・ロシアやウクライナからの避難民を積極的に受け入れるとともに、反戦の呼びかけの中心となる
 - ・ウクライナに支援をするべき

・日本に戦力や武器の支援などは難しい。そのため難民の受け入れとともにその難民の方々の支援やロシアに対する経済制裁、また今までとは違い毅然とした意思を持ったロシアへの対応をしてほしい。

・日本は唯一原爆を落とされた国なので、核戦争や戦争の悲惨さ、非合理性を訴えてロシアの軍事侵攻を非難するべき

・戦争犯罪を断固として許容しない立場

・これまで以上の経済制裁を与える。終戦後の復興支援にいち早く取り組めるように準備をする。

__私は平和で安全な日本に住んでいるので、国家間での戦いがどれほどのものなのかが分かりません。TVなどで得られる情報では「多くの負傷者や死者が出ている」とも危険なものだと分かります。もし、報道が本当であるなら戦争を止めるよう働きかけたいです。

・どちらの味方にも立たない

・難民受け入れに力を入れる。

・"冷静に両国の状況と情報を見守るべき。情報に踊らされてはいけないその情報が真であることを確かめなければならない。(多数がそういつてるからって真実である保証なんてどこにもないですからね、大半の場合は何も考えなくても大多数が正しいんでしょうけど、今はその判断すらも慎重にならねばならないくらいの問題です。)

・今たとえば、ウクライナ側が攻められているのが本当だとして過度な支援をしてロシアを滅ぼすくらいの軍事力を与えてはならない、一時の感情に振り回されてはいけない。あくまでウクライナを守るレベルの軍事にとどめなければならないことを忘れてはいけない、そういった冷静さを失わせないようにもし周りの国にヒートアップしすぎた国があったら助言をする立場であるべき。"

・ロシアに対して強気な立場、つまりロシアに制裁をする立場をとるべき。ロシアは核を持っておりそれによって圧力をかけてくるが、日本が防衛力を強めることによって未然とまではいかないが最小限程度に抑えることができる。そしてロシアに対して圧力をかけないと今後の世界情勢が崩れかねない、つまり戦争が先進国間で起きるので今のうちにこれは防ぐべきだから。

・一方的な軍事侵攻に対して非難し続けるべきである

・相互の言い分を聞きつつ、中立的な立場をとるべき。

・侵攻を認めるべきでない立場。

・ロシアの行為は主権国家への侵略であるので、これに反対する立場をとるべきであると考え。日本もロシアとは領土問題を抱えているので、それについてなんらかのアクション(攻撃的なものは避けるにしても)を起こしたほうがいいのではないか。

物資の支援などで国連に協力すべき。

・自国の防衛を強化する。戦争が終わった際に最大限の支援をする。

・どのような理由であっても武力攻撃をゆるしてはいけないと考える

・断固抗議する必要がある。台湾や北方領土など遠い国の話ではないことを今一度再認するべきである。

・世界中がロシアに対して反旗を翻している以上、日本もその時流に乗って行くべきだと思います。ここで欧米諸国を敵に回す必要はない。

・日本の単独行動でなく、国際的に協力して侵攻の中止と平和的解決を望みます。

・戦争に対して強く非難し、国連の安全保障理事会の機能不全を解消していく中心的役割を担うべき。

- ・日本もロシアとの国境問題を抱えている。ロシアがウクライナを侵攻した今、日本が何も抑止力を持っていないというのは不安。日米安全保障条約だけでなく、核シェアリングのような仕組みを日本も導入して行くべきだと思う。
 - ・平和主義を貫くべき
 - ・日本もアメリカ頼りじゃなく、自分でも抑止力を持つべきだと思うので、核の保有とまでは行かなくても、核シェアリングなどである程度の抑止力を確保しなければいけないと思う。
- 世界にどう言われようと平和主義を貫くべき。人道支援を積極的に行ってほしい。
- ウクライナの支援は続けつつ、日本も万が一ロシアや他国に攻められた時追い払えるだけの戦力を確保していくべき。
- ・現在の日本に他国のことを考えている余裕はあまりないんじゃないかと考えると、不干渉、あるいは最低限の援助だけをしていくべきだと思う。
 - ・反ロシアの立場を示し、ウクライナへの支援をもっと行うべきだと思う。
 - ・ロシアのウクライナ侵攻に反対の姿勢を取るべき。
 - ・侵攻による多大な被害への支援を迅速に行うことと、ロシアに対して経済制裁などの制裁を加えることが大事だと思います。この非常事態に乗じて憲法九条を改正しようとする動きが出ていますが、安易に防衛力を高めるような改正を許してはならないと思います。
 - ・ロシアの侵攻に対して、批判的な立場に立つ
 - ・欧米と力を合わせ、できる限りの援助を行うべきだ。
 - ・非がどちらにあるのか適切に判断したうえで支援する立場をとるべき。
 - ・ウクライナのためにお金を使うのはいいけど、それと同時に日本自身のことについても考えるべき
 - ・人道支援にのみ協力し、自発的に挑発をするような行動は控えるべき
 - ・ウクライナに対しできるだけ支援はすべきであるが、米国のためにするべきではないと思う。
 - ・どちらの国を支持するかではなく、両国で困窮している国民に食料などの支援を出す体制を取るべきだと思う。少しでも軍事関係と思われるものは支給しない方がいい。以前日本でも議論になったが、支援という体制で日本の意見が割れるような状況に陥らないようにすることが前提だと思う。
 - ・緊急時に国民を守るだけの軍事力を保持しながらも、理不尽な侵略はしない、という立場。
 - ・アメリカに同調して、ロシアと完全に対立してはならない。
- 火の粉が飛んでくるのは怖いのであくまで中立的な立場であってほしい。
- ・ウクライナ侵略に対し反対の立場を明確にし、ロシアに対して抗議の態度を続けていくべきだと思います。
 - ・"継続的な支援をしていくべきだと思う。ただし、ものをあげるという形の支援は続かないし、いらぬものをあげても、向こうだっていらぬと思う。どこからが戦争への参加なのかはわからないが、絶対に戦闘に参加して欲しくない。"
- 中立の立場を保ちながらも、国際社会で積極的に存在をアピールする必要がある
- ・外交による平和維持を貫く
 - ・ウクライナを戦争面だけでなく経済面でも支援すべきだと思う
 - ・ウクライナを支援するとともに、ロシアに圧力をかける

・"憲法の本質に沿って対処すべき 武力行使でなく社会的なダメージを与えてほしい"

- ・引き続きウクライナを支援する立場をとるべき。
- ・ウクライナに救援を送って、ロシアに制裁を加える
- ・深く関わらない立場
- ・ウクライナ側にいるという立場をしっかりと表明すべき
- ・経済制裁や被害を受けた人への物資や休演
- ・仲裁をするべき
- ・避難者の支援
- ・分からないです
- ・移民を積極的に受け入れる。
- ・ウクライナから逃れてきた人々を積極的に迎え入れるべき
- ・ウクライナ支援を続ける必要があると思う。また、戦力の保持も検討すべき
- ・ウクライナへの支援をする立場
- ・他国のことは他国に任せ日本は必要以上に干渉すべきではない。
- ・深入りせず、やれることだけやるのがいいと思います。難しそうですが。
- ・戦争には参加するべきではないと思う
- ・ウクライナを全面的に支持すべきである。一方的な侵略を許してはならない。
- ・ロシアに対して厳しい姿勢をつづけることで、自分の立ち位置を示すべき。
- ・"ロシアに経済的制裁をつづける

ウクライナを全面支援" ウクライナを積極的に助けて、欧米各国にアピールしていくべきだと思う。ロシアに代わって常任国になればなおよし。

- ・ロシアを非難する立場
- ・ロシアに対抗すると共に自国の防衛力を強化する
- ・ウクライナに戦争に関する費用以外で資金的をするべきだと思う
- ・アメリカだよりはやめるべき
- ・欧米諸国に足並みをそろえるだけでなく、今のアジア圏の情勢を踏まえたうえで経済制裁などを慎重に行うべき。今のままでは、たちごっこのように感じる。
- ・難しい
- ・できるだけ長引かないように働きかける立場をとるべきだと思う。
- ・西側諸国と足並みをそろえるべきである。
- ・ウクライナを支持する立場でロシアに武力行使は行わないものの批判を行う立場。

- ・ロシアが攻め込んでいることには反対の立場にいるべきだと思う。しかし、武力ではなく今のような経済制裁等で対抗するべきだと思う。
 - ・まわりの外国の動きを見て、うまく立ち回れるように行動するべき
 - ・間接的な経済制裁を加え、ロシアの行動に断固反対して行くべき。ロシアに直接攻撃を加えたりウクライナに武器を売ったりすることは、それをしてロシアに標的にされたとき対応できない日本はするべきではない。
 - ・戦争が起こらないように最大限努力する。
 - ・ロシアを全面に否定するのではなく、どちらの言い分も聞く中立な立場で話し合いの場を設けること。
 - ・日本も防御力を高め、他国から侵攻されないようにすべきだと思います。
- 経済制裁など日本はする必要がないと思う。ヨーロッパ諸国やアメリカの顔色をうかがって行なうなら、関わらないほうが良いと思った。
- ・あまり干渉しない方が日本のためだと思う。
 - ・ロシアを刺激しすぎない
 - ・あくまで戦争の類いのものに反対であるという立場を一貫すべきだと思う
 - ・ウクライナ侵攻は許されることなく、戦争が早期に終わるように働きかけるべき
- 危険を被らない範囲で手助けをする
- ・周りに流されず行動していくことが大切だと思う。確かに周りの状況を判断することは大切であり、慎重に行動すべきだが、日本はそうではなく、表向きの支援のみを行っている気がする。よって日本は積極的に支援すべきだと思う。
 - ・中立の立場を大切に
 - ・戦闘力強化の方向に走るのは、極めて危険だと考える。平和主義は理想論で非現実的だとする人はもちろんいるだろう。しかし、果てのない軍拡競争に参加することで費やされる費用を視野に入れるべきだ。それよりも先に費用をかけるべきところがあると、私は考えている。
 - ・平和主義てき立場
- "ロシアに対して歩み寄るでも突き放すでもないグレーな間合いを維持する。外交上のとるべき態度は否定しないが、留保は残しておくべき。いざというときに使えるホットラインは多ければ多いほどいい。"
- ・日本は先の大戦の敗戦国として、これ以上双方の被害を拡大させないよう積極的に働きかけるべきである。今回の侵攻はロシア側、というよりもプーチン大統領陣営の理解に苦しむ主張もあり、ロシアを悪、ウクライナを善とする見方が強い。私自身もそういった考えは少なからず持っている。しかしながら、そういった勧善懲悪的な考えでウクライナ側を武力で支援したとしてもロシアとの国力の差は縮められず、戦争は泥沼化する一方である。また、ロシア側でも今回の侵攻に反対する人々や戦場に行きたくないという思いを持つ兵士も存在し、ロシアも一枚岩ではなく必ずしも全員が今回の侵攻に賛成しているわけではないことが分かる。

こうした中で、日本もウクライナに向けてヘルメットを送るなどの支援を行っているが、それ以外の、外交での停戦・終戦に向けての働きかけもできるはずである。「ロシアとは北方領土問題があるため事を穏便に済ませたい」との考えを持つ政治家の中にはいるかもしれないが、はっきり言ってそれは甘えである。時には何かを犠牲にしてでも成し遂げなければならないことがあるはずである。今がその時なのではないのだろうか。冒頭でも述べたように日本は先の大戦で学んだ事を活かし、あのような惨状を再び起こさないために積極的に働きかけるべきである。"

- ・国に関わらず難民を支援すべき
- ・関わらない
- ・どのような立場をとればよいかわからないというのが正直な意見である。ロシアは隣国の一つであるため核攻撃をされる可能性も考えられなくもないためウクライナを支援しつつ、日本もいつ攻撃されるかわからないという姿勢が大切だと感じる。
- ・専守防衛を貫く
- ・日本は一切関与しない。
- ・戦力として協力はできないがウクライナ側に食料などの面で手助けすべき
- ・戦争反対。国家主権を侵害してはならないことを主張すべき。
- ・出来る限り財政支援をして欲しいです。自衛隊を派遣する必要は無いと思います。
- ・ロシアに対して批判的な態度を取ること、またウクライナに対して可能な限りの支援をするべき。
- ・第三者目線で平等な立場をとるべき。
- ・ウクライナ国民への人道的支援を進めるとともに、武力によって他国に干渉を行うロシアに対して、講義を続けていくべきだと思う。しかし、日本国として武器供与などの軍事的支援は行わないべきだと考える。
- ・経済的な支援は行うべきだと思う。
- ・支援するだけの力があるなら避難民の救済などをしたらいいと思うが、お金があるわけでも戦力があるわけでも自己防衛ができるわけでもないのだから、あまり首を突っ込まない方がいいと思う。
- ・分からない
- ・戦争をしない
- ・ウクライナを支援すべき
- ・ウクライナにできる限りの支援をするべきだと思う。
- ・物資を提供するなどの支援
- ・ウクライナへ支援物資を送ることなどは続けていくべき。
- ・客観的に見てその時の状況判断して立場とるべきと思う
- ・あまり手は出さずに避難民は受け入れていくべきだと思う。
- ・具体的には分からないが、難民の受け入れなど支援はする必要があるのかなとおもう。
- ・ウクライナを支援していく立場。
- ・ロシアに対する経済制裁といった、高圧的で毅然とした対応をとるべき。
- ・ウクライナに協力する
- ・ロシアには絶えず制裁を続ける、ウクライナには支援を続ける(防弾ジョッキくらいは送るべき)
- ・ウクライナの支援を継続する。

- ・当事国を過度に刺激するような対処、制裁、発言は控えるべきである。あくまで、当事国の対話による解決を促す立場としての対応をとるべきだと思う。
- 防衛力の強化は必須、装備を送る程度はしてもいいと思う
- ・避難してきた人の受け入れや支援物資を送るなどの間接的な支援をし戦争にはあまり参加しない立場をとった方がよいと考える。
- ・個人的には、日本はアメリカ側と足並みをそろえて、制裁を加えていく必要があると考える。
- ・ロシアを非難する。
- ・多くの国との関係を持たずに最低限の国際関係を維持していく。
- ・現時点ではウクライナに軽い援護を行うことでなんとかかなると思うが、これが長期化するまた世界的にこのような事例や危険が増えた場合は、憲法改正や核、防衛戦力の拡大が必要になると考える。現に尖閣諸島や竹島、北方領土問題があり、現行のものでは対処しきれなくなっていることが増えてきていると考える。もし、ウクライナがロシアに占領(降伏した)された場合このような事例は増えると思う。
- ・理想は中立の立場の堅持
- ・"ロシアに目を付けられようが正直今更なのでもっと支援してあげるべきだと思う。ヨーロッパが経済の影響を気にする譲歩派と侵略の代償を払わせようとする正義派に割れているようだが、侵略者に甘い汁を吸わせるべきではないと思う。"
- ・国際法と照らし合わせて、おかしいと思う部分については糾弾すべきだが、物品や資金の提供は控えるべきだと思う。
- ・NATOに合わせるなら、合わせるで早急な判断をするべきだと思う。
- ・私は、日本の立場はどのようにすべきか、まだ思いつかない。
- ・日米間や近隣諸国と協力していけばいいと思う。
- ・ロシアによる軍事侵攻は非難すべきだが、中露朝と隣国であることを忘れずに慎重な立場をとってほしい。
- ・欧米と足並みを揃えてロシアに制裁を課すべきだと思う。
- ・あくまで中立
- ・戦争をすることを反対し続けてほしい
- ・ウクライナに対する何かしらの支援をするだけにとどめるべきだと思う。
- ・ウクライナへの最低限の支援
- ・ロシアを批判しつつも今後を見据えた立場
- ・ウクライナへの物資の支援
- ・他の国と足並みをそろえつつ、ウクライナに対して人道支援は積極的に受け入れていくべき(難民の受け入れなど)
- ・ウクライナよりの立場だが、中立に近い立場がいいのではないか。
- ・中立
- ・"戦争を経験しているからこそ争いが起きないように周囲の国との関係を見直しつつ法案は変えないでおくべき。
- ・戦争を出来るようにしてはいけない。"
- ・一刻も早く防衛力を高める必要がある。

- ・関わらない立場を取っていただければいいと思った。
- ・分からない。
- ・ウクライナを全面的に支援すべき
- ・とりあえずはウクライナに支援をしつつロシアを刺激しないようにする。
- ・ロシアとは慎重に対話を続け関係を築いていき、停戦に持ち込むための足がかりとなるような立場であってほしい。また、ウクライナに対しても避難民の受け入れなどを行い支援していく立場であってほしい。
- ・分からない
- ・ロシアに対して徹底的に経済制裁を行う
- ・ウクライナ支援にまわるべき
- ・隣国との関係を良好に保ちつつ、戦争反対の立場で他国とともにロシアに対する制裁を行うべきだと思う。
- ・憲法改正を行い、戦争できる国にして備える。
- ・ウクライナに対しては、物資支援と避難民の受け入れを行い。ロシアに対しては、経済政策を用いる。ただし、ロシア人の戦争反対派への協力や日本にいるロシア人に対する誹謗中傷を防ぐようにする。
- ・"中立 ウクライナ難民に対する支援をもっとすべき"
- ・アメリカに頼ってばかりの今の体制から脱却するべきだ
- ・中立
- ・分からない
- ・食料とかを送ればいいと思います。
- ・ウクライナを支援すべきだと思うけど、ロシアを敵にすると、石油など日本のダメージがすごい
- ・ウクライナ支援
- ・収束を促す
- ・中立な立場にいた方がいいと思います。
- ・日本は、慎重にことを踏まえて防衛対策をとるべき

⑫政治に対する考え方や期待(自由回答・概括)

- ・期待はしていない
- ・政治の不透明感を少しでも軽減してほしい。
- ・あまり期待していません
- ・コロナ対策に国民の意見がもっと反映されればいいと思う
- ・もっと若い人の意見を取り入れてほしいです。
- ・物価を下げる
- ・平和な世の中の維持。
- ・もっと賢くお金を使ってほしい
- ・政治は正直難しくてあまりわかっていない
- ・マスク着用の風潮をなくしてほしい。
- ・"憲法改正の問題などをしっかりと解決すること。社会保障のおかしい制度をしっかりと見直す"
- ・少子高齢化問題と年金問題にもっと力を入れてほしい。子育てのさらなる支援をしないと少子高齢化は絶対に解決しないと思う。
- ・コロナをどうしていくのかに期待
- ・マスク生活を早く終わりたい。
- ・できるだけ税金を上げないようにしたまま、上手にお金を使ってほしい。
- ・戦争だけはしないで。
- ・政治には興味はありますが難しいことはよくわかりません。ですが、国民が暮らしやすい日本になれば嬉しいです。
- ・支持できる政党がない。憲法改正はしてはいけないと思う。
- ・「野党は批判ばかり」というコメントが政治に関する動画のコメントではよく見られるが、そうした状況がなんとか変わらないものかと思う。政治に詳しくない人は、「野党から批判されているけど、自民党頑張り」のようなマインドを持っている人が多いのではないだろうか。ただ、自民党がしっかりとした事をしていけば、いいかもしれないが、そうで無いことだってあるはずだ。吉川議員が未成年とお酒を飲んで離党したというニュースがあったが、議員辞職すべきなのに、周りは「本人が判断すること」などと言ってお茶を濁している。そうした状況をなんとかしないといつまで経っても、政治は良くならないように思える。おまけに、今の政治は高齢者にむけられたものが多いのではないだろうか。もちろん、高齢者も大事だろうが、日本国民全員を大事にするべきだと思う。特に教育への投資をもっとして欲しいと思う。
- ・国債をどうにかするべき。減らすべき。国会議員の給料は今の7割でも多いくらいだと思う。必要のない場所で使う税金を減らすこと。
- ・コロナウイルス対策の動向に注目していきたい。

- ・政治の効果を実感できるようにしてほしい。できれば悪い効果ではなく良い効果を期待する。
 - ・新型コロナウイルスに対しての対策をもっと割り切って行ってほしい
 - ・期待していない
 - ・政治をどうすればよいかは分からないが、難しいのはわかる。ただ1つ願望を言うなら、今はより良い国にするより内部の強化をしてほしい。
 - ・国民に対し胸を張れる堂々とした政治を期待する
 - ・地方自治体のこれからの在り方をより真剣にかんがえていくべき
- 今ある課題(少子高齢化、年金問題、ジェンダーレス)に対する策を考案して、SDGsのように期限を設定して取り組んでほしい。
- ・コロナの影響で停滞した経済を立て直してほしい
 - ・少子高齢化が進んでいる中でどのように対策していくのかを考えてほしい。また、教育において共通テストの変更などがあったが授業の方式などの変革も行ってほしい。
 - ・スタグフレーションを避けるための経済政策。
 - ・物価高騰や外交関係のニュースをよく見かけるので、特にこの二つの改善を目指してほしい。政治は富の分配を行うためにあるという話を聞いたことがある。現在その目的が十分に発揮されていないようで残念に思う。自分も社会の一員として政治に参加できる年齢になったので、無関心でいないようにしたい。色々な考えや価値観を持つ人たちが集まって、たくさんの視点を持って政治が行われるといいと思う。
 - ・今の社会の変化に合った政治をしてほしい。
 - ・外交を強くしていく 若者に対する政策 ろくでもない国会議員が多い 比例代表制をやめるべき
 - ・老人のための票取り公約ではなく、若者のための政治を。
 - ・特に詳しくは知らないが、もう少し若い政治家が増えてもいいと思う。
 - ・意味のない行動は控えてほしい。私が政治に直接意見しているのであまり大きなことは言えないが、優先順位が間違っていると思う。無駄に時間をかけるのをやめてほしい。重要なことを早急にかつ慎重に決めてほしい。
 - ・少子高齢化で財政が苦しくなるのは見えており、低い自給率、周辺国との関係悪化なども相まって苦しい時代に入るのは必定である。その問題に対処できる政党に期待したい。
- 現役世代の社会保障負担を大幅に引き下げてほしい。高齢者のことは後回しに考えてほしい。
- この国がとるべきだと考えるような正しい判断をして国民の意見を最優先で取り入れるべきである
- ・社会保障のあり方についてどうしたら働く世代の負担が少なくなるか考えるとともに、国自体も少子化対策により積極的に動くべきだと感じる。法の育児介護休業法の改正だけでは実態が伴っていないように感じる。
 - ・コロナ対策をしつつ共生していく態度をとり、経済を回していけるといいと思う。
 - ・二、三十年、日本の賃金は変わっていないと言われているのに、物価は上昇している。また、国債を発行するばかりで、将来の税金や年金が心配である。その辺を中心に考えてもらいたい。

・政治に関心のない人向けに、政策などを簡単な言葉で説明してほしいです。大抵難しくて(今の情勢があまりわかっていないからかも知れませんが)それを変えるとどうなるの?と置いてしまいます。

・小学生のときにテレビで国会中継を見て、暴言を吐いている偉い立場の大人に悲しさを感じて政治について積極的になれなくなった。男女の賃金差がなくなることを期待している。"

・少子高齢化が進む中で今後の社会を背負っていく若者の経済的負担削減や少子化対策に関する政策に力を入れてほしいと個人的に思います。そのため、当事者のひとりとしてより国民に寄り添った考えをお持ちであろう若い世代の政治家の方々に活躍していただきたいです。

・今後どんどん世界が平和から遠ざかっていく気がしていて、今の体制ではあまり何もできなくてそのまま侵攻されてしまうのは嫌なので憲法改正などの具体的な対策をすべきであるのと、これからどんどん年金が減っていった私たちの年金がなくなってしまうのではないかという危機感を感じているので、そこは何とかしてほしいです。

・自衛隊の扱いを明確にしてほしい。

・Tiktokで、地方の市議会の様子を隠し撮りしている公式のテレビ局のアカウントがあるが、その動画ではいつも居眠りしたり関係ないことをしている老年の議員がいる。全員がそうではないのはわかっているが、税金が無駄に使われないためにも議員の数を減らしたり若い議員が年齢関係なく当選できるような革新的な社会を作ることができたらと思う。

・政治家の人が国会で寝ているところがまとめられたものがYouTubeに上がっていたが、給料をもらっているのに寝ているのはあり得ないと思う。記者が寝ていた議員に直撃取材した際に、だいたい言い訳をしていて見苦しかった。また、予算委員会などをみても無駄な議論をしていたり、都合の悪いことは答えられないなど時間の無駄だと思う。

・少なくとも国民が投資をすることを推奨するような政府は何かがおかしいと思う。

子供を作るとは罰だ、賢い人間は子供を作らない、とネット上で言われるほど子供にお金がかかるような社会で少子化が減速するわけがなく、加速するばかりであると思う。今、選挙で票を獲得するために高齢者に対する政策が多いような気がしてならない。古代ローマにおけるバラマキ政治のようだ。もし、そうしなければ票が得られないのであれば民衆の教育が整っていなかったということであるし、今どうにもならず目先の利益しか見ることができないということでそれはそれで政治の失敗であると思う。先を見据えた政策がとれるような政治が行われることを期待している"

・昔の考え方に捉われないような優秀な若者が政治家になることと、税金を無駄にしないこと。昔の慣習にとらわれてる人々をなんとかしたほうがいいと思います(これに関してはAbemaTVを見ればよくわかります)。また衆議院議員と参議院議員になることが可能な年齢(衆議院議員なら25、参議院議員なら30ですが)を引き下げたほうがいいと考えます。

若者が将来安心して生活できる社会を作ってほしい。

・現状のように平和に暮らせさえすればそれ以外は何も望みません

・停滞している日本経済をどうにかしてほしい

・物価上昇を何とかしてほしいです

・あまり政治のことはわからないが、戦争はしないでほしい。

・質問がマジで草

- ・一票の格差などの問題はありますが、議員の数を減らし、まず、国会議員の人件費を抑えるべきだと思う。その経費を福祉や教育にあててほしい。
 - ・過疎化の対策をしてほしい
 - ・少子高齢化による人手不足や税金の制度を変革してもらいたい
 - ・高齢者に有利な政策ばかりで、若者についても考えてほしいと思う。
 - ・日本の借金が少しずつでも減ることに期待する
 - ・核戦争だけは避けましょう
 - ・すべての世代の人が生きやすい世の中になるための社会福祉の制度の見直しや制度の拡充に期待をしている
 - ・貧富の差が著しく激しいので少しでも良くしてもらいたい
 - ・円安を食い止めてほしい、馬鹿な政治家の人数を減らし無駄な会議と人間に税金を使わないでほしい
 - ・この国の政治が悪かったのなら海外に行けばいいなと思ってる。しかしみんなが日本から出ないということは悪政ではないんじゃないかと思う。
 - ・自分たちが裕福になればいいと考えている政治家が多そうと感じる。自分を多少犠牲にしてもいい政治にしていこうとする人たちが出てきてほしい。変なところや裏で多額の金が回っているのはとても気に障る。しっかり会計監査をし全ての新聞に一年の内閣の会計を乗せるべきだと思う。
 - ・マスクを外せるようになったら嬉しいです
 - ・これからは少子高齢化が進んでいったりAI化が進んでいく中で福祉の拡充や失業対策が良い方向に向かっていくことを期待している。
 - ・憲法9条は改正すべきではないと思う。自衛隊は戦力ではなく、自分たちを守るための最低限の実力なので自衛隊は合憲だと思うので、憲法に明記すべきだと思う。
 - ・戦争が起こらないような政治をしてほしい。少子高齢化社会の中で健康寿命を延ばし、働き手の改革を何かしらしていくべきだと思う"
 - ・お堅いものでなくもっとフレキシブルで横のつながりがあるものにしてほしい。
 - ・物価上昇に伴う賃金の増加と現役世代への支援を期待します。
 - ・正直、期待していない。野党がまとまりがなさ過ぎて今の政権から変わってほしいと思っても変わりができる政党がないように感じる。
 - ・野党には建設的で意味のある質疑をしてもらいたい。今の質疑は時間と税金の無駄だと思う。
 - ・日本の防衛力に関してやや不安があるため強化するべきだと思うが、必要以上の軍事力を備えるのは控えてほしいと思う。
 - ・自分の世代の考え方に固執せず、常にアップデートできる人にトップに立ってほしいです。
 - ・議員数と議員報酬を減らすことで財政を少しでも良くするべき。国民のために働く仕事だと豪語している割に、自分の利益を優先している印象があるのでそのあたりから国民のために働いているという姿勢を見せてほしい。
 - ・選挙の際にいちばん頑張るのではなく、当選した後も変わらずにいてほしい。中にはそのままの勢いで政治に向かっている人もいると思うので、イメージを下げないために全体でもう一度気合を入れなおした方がよい。
- 具体的な数値などで指定してほしい
- ・限られた財源を本当に必要なことに使ってほしい。

・ウクライナ戦争について、仮にロシアが核を使っても日本は非難しかりしないだろうし、あまり意味が無いと思う。それだったら、不干渉を決め込んで、難民の引き受けなどに徹した方がいいと思う。

・国民や世界のためになる議論をしてほしい

・円安の対策・少子高齢化対策・所得の増加

・家庭の経済状況に依らない子供に対する支援を期待する。

・高齢者社会が進んでいるのでなるべく選挙に行くなどして政治に参加したい。

これからの政治は変化を恐れずにやってほしい

・憲法改正をしてしまったら、これまで築いてきた平和が崩れるんじゃないかと思う

・"あなたは、今後、日本が防衛力を強化することに、賛成ですか、反対ですか。と現在の社会情勢を踏まえ、憲法を改正する必要があると思いますか。に関しては、前者は、防衛力を高めるといことは軍事力を高めることになる(批判は出るでしょうね)、大事なのは使どころ、どこかの銃のストップパワー(相手の攻撃能力をなくす力)が高い銃で対物〇〇狙撃銃というのがあるのですが、それは人に向けてうってはいけないですね(理由はむごいかららしいです)、それでそれを壁に向かって打ったら敵兵が巻き込まれてしまいましたーと言った言い訳をして実際の目的を隠したり嘘はついてほしくない。つまりどこかの国のように攻撃を仕掛けられてもないのに攻撃されたから仕返ししますとか言って高めた防衛力を使ってはいけないということです。後者は、どうせ変えようが変えまいが解釈改憲でないよう捻じ曲げるから条文を変えなかったとて内容は変わるからどちらにしてもという感じの質問だと思う。(そもそも他者や他社の考えを理解できなくとも受け入れる人間として持つておくべきものを持っていれば戦争なんぞ起きないから持つてなくて当然のはずなんですけどね)もちろん、反対意見などが出ることはわかっています、全てを納得させることができる意見なんて存在しませんから(人を殺してはいけないという意見でもです。何故ならアフリカのとある地域では苦しんでいる人がいたら苦しむ時間が少しでも減らしたほうが良いという考えで人を殺すということがあります。)あくまで僕の意見ということです。去年まで高校生だった若造の意見としては的を得てるんじゃないですかね？そして政治に関してですが、もっと良い話し合いができないのだろうか、、、。同じ質問を何回もしたり寝てたりやじだけ飛ばして案を出さなかったり相手を落とすことだけを考えているような人は何なんですかね。政治について研究しているわけでもない一般学生ですが、僕は国会での話し合いは、与党になったなれなかった派選挙が終わったからいったんその感情は捨てて、今の国をよりよくするために立候補して運よく受かった人たちの集まりなんだから協力してよりよい法案を作っていくべきで無意味な質問や寝てたりヤジを飛ばしたりしている場合ではないと思います。正直やじ考えている暇あったら案を出せと思ってしまいますね、せつかく今の岸田内閣は話を聞いてくれた上にその案を法案に少しくみ取ってくれるらしいので、少なくとも今の間は案を出したほうが良いと思いますね。もちろん案を出したのに採用してくれなかったりしていたらヤジは飛ばしているんだったらまあ文句は言えないですけど、、、与党側もより良い法案を作るためにたくさんの意見を聞いて全員で作りに上げていくべきだと思います。意見を聞かない与党なんぞ独裁国家と変わらないですからね。一定でありながら臨機応変な物差しを。このアンケートだけで変わるかわかりませんが少しでも政治についてこうあるべきと考える人が増えたらよいと思ってます。もっと貪欲になるなら昔の政治形態を正しく変えてやるんだという昔を思い出し初心を思い出し行動を改めてくれる政治家の人や確かに今ってちょっとおかしいかもと思って行動を改めてくれる政治家がいればよいなあと思っています。長くなりましたすみません、政治について少し意見がある若者のたわごとだと思ってください、馬鹿にしても良いです「考えが甘いな」って、でも忘れないでほしいです こう思っている人もいて、間違っているならそれだけ国会が不透明という風にとらえてください。以上です。"

- ・誰も不満がない国を作ることは不可能なのでせめて現状維持
- ・現代を生きる人々にそり沿った政治を期待する。夫婦別姓や子育て支援、セクマイへの理解を示すような政策を期待している。
- ・日本政府は若者世代に対してあまり政策を打ち出さない、防衛費を増加することはまあ今の情勢で許されると思うが、現在の日本の状況を見てもなにもその国内状況に対策、政策を打ち出さないのはあまりに無謀。また、外国からの留学生のバイトは法人税がかからないが日本人大学生がバイトをすると法人税がとられる。国籍が外国か日本かで同じ立場の人たちの中で差が生じているのはおかしい。日本は日本人の若者に対して大人や高齢者よりも優しくない、高齢者よりも若者に目を向けるべきだと思う。芽を摘んでほしくない、育てて大きな花を咲かせてほしい
- ・若い世代に対する支援策や政策を行ってほしい
- ・政治には期待できない。
- ・全ての問題を解決するのは不可能なので、自分の関心や影響の行き届く範囲で関わっていきたい。政治に期待することは特にない。
- ・政治と社会とのタイムラグ。仕組みとしての問題だと思うが、政治家が問題として意識したものが実行されるまでに時間がかかるので、求められていることと実行されていることがずれてしまう。
- ・物価高による国民への影響への対策
- ・止まらない円安と物価上昇の解決が最優先である。コロナが治れば円安の影響で観光が潤い外貨の獲得が期待できる。今はコロ政策が鍵を握っている。
- ・政党には手腕ではなく、思想や政策で競ってほしい。「やらせてみよう」以後選択肢が狭まっており選挙に対して若干のあきらめを感じている。
- ・誰もが平等に暮らしやすい社会を実現してほしいなと思います。
- ・国民の生活が少しでも豊かになるような政策を出して行ってほしい。
- ・少子化を問題視しているなら、もっと子育て支援や、大学の授業料撤廃などを推し進めて行って欲しいと思っています。
- ・マスゴミの偏向報道がすごいのか本当に政治家が汚いのか、わかりません。
- ・少子化問題をどうにかするためには、子育てにかかる費用を減らすことと、景気を良くしていくことが必要だと思うので、このふたつをどうにか解決して欲しい。
- ・マスゴミの偏向報道に騙されない世論を形成していきたい
- ・アメリカやヨーロッパのいわれるように政治をするのではなく、本当の意味での日本国民のための政治をしてほしい。
- ・野党の人たちが憲法改正の反対を。または税金減らすことなどを目標に掲げて演説しているのをよく見ていたが、何を根拠に実現可能だと言っているのかわからない。思想は個人の自由なので否定はしないが、少し考えれば税金減らしたらそれはそれでまた違う問題が出てくることはわかることであろうに。つまり、目の前の利益を餌にして自分を当選させようとする政治家たちが本当にいなくなっていくことを望んでいます。
- ・生活保護をなくしてほしい。
- ・政治に対してはニュースで取り上げられるのが汚職や不正などが多いためあまりいいイメージを持っていませんが、同時に政治家さんがどのような仕事をしているのかもよく知らないなので、どのような政策を行っているのかをもっと明確にわかりやすく広く我々国民に示してほしいと思います。
- ・テレビの所持の有無にかかわらず、NHKの放送料を払わせることに反対です
- ・時代の流れによって世界は変化しているため、「変えていく」政治が必要だと考えている。頼むから消費税をこれ以上挙げないでほしいというのと、結局うやむやになった森友学園問題のように汚職まがいのことだけは絶対しないで貰いたい。

- ・教師の仕事の負担を軽くしてほしい
 - ・裏表のないしっかりと目に見える政治を行って欲しい。また、古い考えに固執するのではなく、時代にあった政策を行って欲しい。
 - ・憲法を改正し、武器を持つ国になることを期待する。
 - ・もっと関心を持つべきもの。国内においては就職難の対策、物価上昇の対策、世界情勢に柔軟に対応できる政治を期待する。
 - ・政治は私たちの生活に少なからず関わるものなのに、ポジティブな印象はない。いくつも功績があっても一つの不幸事で隠れてしまう場合が多いと思う。事件以外でも大々的に発信できる体制を期待したい。
 - ・自分の一票が政治に反映される実感は感じにくいというのが正直な感想です。
 - ・"建設的で国民の生活に寄り添った考えの人に政治を任せたい。アメリカに守ってもらっているのは事実であるものの、もう少し日本独自の中国と対話をする姿勢をとった方がいいと思う。"
 - ・貧困による教育格差をなくしてほしい。
 - ・何一つ期待しない。
 - ・各党が、絶対的な人数が多く、投票率も高い高齢者向けの政策ばかりをやっていては若者の政治的な関心は薄れるばかりだと思います。高齢者に遠慮するばかりではなく、若者向けの政策を積極的に示し、関心をどれだけ引き付けられるかが今後の政治の大きな課題の一つかと思っています。
 - ・"少子化対策をやっていくなれば、助産師の雇用の確保や勤務体制の改善、賃金の値上げなどをしてほしい。
 - ・沖縄の米軍の基地の問題は、押し付け合いをするようにしか見えないので、実際に政治家がその民泊に住んで音の大きさなどを体験して見たらいいのに...とってしまう。"
- 最高裁判官の国民審査に最も興味があるので、その点についての話題をもっと取り上げてほしい
- ・国会議員の男女率の改善
 - ・テレビやネットの情報を積極的に取り入れたいと思う
 - ・何か対策が必要なのはわかるが、憲法9条が改正されようとしているのは反対
- 武力行使の戦争を今まで批判して国際平和を掲げていたものがなくなるのではないか
- ・私が小さいころから総理大臣は安倍さんだという印象が強かった。このような国民からの支持を得ることのできる総理大臣が出てきてほしい。正直岸田さんではなく河野さんが就くと思っていたし、就くべきだとも思った。
 - ・汚職がなくなること 公約を遂行すること
 - ・平和であれば何でもいい
 - ・景気が良くなるといいな
 - ・選挙に積極的に行こう
 - ・少子化やエネルギー問題、国の財政などの諸問題をどのように解決していくのか期待している。
 - ・戦力を保持しないやり方での政治活動
 - ・"悪い考えをつ持った政治家がいなくなしてほしい国会でも寝ないでまじめに会議に取り組んでほしい"

- ・憲法の自衛隊明記
- ・雇用がどうなっていくか。経済は良くなるのか
- ・少子化対策のために金銭的な支援を今以上に手厚くしてほしい。
- ・議員の不祥事や不正などがテレビで報道されるなんてことが少なくなればいいとおもいます。政治は複雑で難しい印象です。
- ・憲法改正はしてほしくないと思った
- ・今の政治はやることが遅いと感じているので手続きなどいろいろあるだろうがさっと決断してほしい。
- ・老人たちが思っている以上に少子化が進行し、着実に日本を弱体化している。いますぐにでも対策を取らないと間に合わない。海外の人々は、これほどにまで成長した国家がゆっくりと崩壊していく稀有な例として日本に注目している。
- ・憲法改正をどんどん進めていくべき
- ・あきらかに馬鹿げた公約を掲げられたら反対するけど、自分の利益じゃなくて国のために頑張してほしい。
- ・賃金の上昇と、地方の活性化
- ・今の日本にあった政治や経済政策をしてほしい。
- ・頑張っている人はちゃんとお金がもらえるようなそんな社会にしてほしい。アメリカにお金を流さないで
- ・年金制度の改革
- ・日本国憲法を、現代に合わせて改正すべき。終戦直後と現代では様々なことにおいて変化が起きている。それに今の憲法は対応できているように感じない。
- ・"政治家たちの悪いニュースばかりを目にしているので、あまり期待ができない。公務員の給料を下げたりしているのに自分たちの給料は下げたりしようとあまりしない。"
- ・将来の財政面や景気を考えた政策を期待したい。
- ・国民の多くが政治に興味を持ち、議論できるような環境づくり
- ・かなり今は平和な時代だと思うが、ロシアのウクライナ侵攻などその平和にひびを入れるようなことが起きているので、今までの平和な環境を保ちながら戦争などの不安要素を排除していくこと。
- ・世の中がだいぶ変わってきていると思うので、それに合わせた政治を行ってほしい。例えば、男女平等などはあくまで平等であって、女性を選出したから騒げということではなく、新たな不平等を生まないようにしてほしい。
- ・議員の数が多く無駄なお金を使っていて、税金泥棒もいるので議員の数を今の半分の数まで減らしてほしい。
- ・学生への経済支援をもっと充実させてほしい。
- ・NHKの受信料の請求はどうにかしてほしい。請求するのは構わないが、請求の仕方に問題がある。受信料の請求という行為がNHKの印象を悪くしてしまっている。
- ・一人暮らしを始めてからニュースを見るのが減ったように自分はそんなに政治に関心がないことに気づいた。おそらく誕生日の都合で選挙に出れなかったからかもしれないので参議院選挙で関心を持つきっかけとなればいいと考えている。

- ・まず現在の政治のあり方についてあまり詳しくないので調べていこうと思う。
- ・顔色をうかがう政治ではなく、日本自ら考えて動ける政治をしてほしい。
- ・政治についてはよくわからないけど、政治家が議会で寝ているなどの動画を見たことがあるのでしっかり議論してほしい。
- ・あまりない
- ・経済的雇用について働きかける
- ・少子高齢化なのに保育園などが足りていないこの矛盾した現実を変えてくれること

現在の日本は少子高齢社会である。そのような中、政府は高齢化ばかりに行動しているイメージがある。必要なことは高齢者のことよりも少子化対策や子供を増やす政策を行うべきだと思う。なぜそれをしようと思ったかを根拠があって言えること。

- ・年金もらえらると思えないのに払いたくないです。

学術分野での衰退は致命的です。なぜ日本人学生に対する支援の方が弱いのですか。外国人学生が帰国するのは当然でしょう。日本という先進国が人口減少で衰退する、なくなることが現実みを帯びてきました。どうすれば出生率は上昇しますか。

- ・少子高齢化に伴う年金負担の増加を、早急に対策してほしいと思う。グラフを見れば一目瞭然だが、限界がくる日は近いだろう。高齢者に対する若者の疎ましさがつのらないようにしていただきたい。
- ・投票率が低いことは一概に悪いこととは言えず、投票率を極端に意識した現代のメディア、政治に不満がある。政治への関心のなさはトータルでその自治体が上手くいっている証拠で有り、行政に対し、特段の不满がない事の意味する。知識のないものが投票を促されてその場の流れで適当に投票する、誰に入れたかも覚えていない、などという場合、本当の意味では政治参加と言えるのだろうか。むしろ、真面目に考える人の一票を薄めるだけである。総合的に様々な事を加味し、投票率を上げる動きには反対しないが、理由や課程を明示せず、今のようなやり方をやっても、若者を、有権者を変えることは出来ない。若者の票を増やすことは絶対に必要であるが、政治教育は確実に不足している。自ら勉強しないと行けない現代では情報が偏ったりする可能性が大いにある。今のやり方には不満がある。私はまだ政治に関する勉強が足りないからアンケートにも答えないし投票もしない。

- ・外国との関わり方、ウクライナの支援するとロシアと敵対する？

・若い世代の投票率が低いことで高齢者向けの社会福祉ばかり充実しているような感じがするので、普段どのようなことをしているのか、日常生活でどれくらいのこと政治がかかわっているのかを分かりやすく示す必要があると感じる。

どうにかありませんかシルバー民主主義。

- ・以前から日本における食料自給率の低下は問題視されていた。それが今回、ロシアによる「世界の食糧庫」たるウクライナへの侵攻が行われたことにより、食糧供給が危ぶまれている状況である。無論、日本もこの影響を受けないわけがなく、今回の件で日本国内での食料生産の脆弱性がさらに露呈したと言える。日本がこれまで食料生産について何の対策も打っていなかったわけではないが、今回のような事態に陥った場合に国民の生活に影響が出るということは、厳しいようだが結局その程度の認識・その程度の政策だったという事である。

現在、第一次産業に従事する人々の高齢化は進む一方であり、それに伴う問題も多く発生している。こうした現在の日本における様々な食料生産問題に対して有効な政策が行われることを期待する。

- ・このまま戦争がない世界

- ・非常に興味がある。国民民主党が主張するように、トリガ一条項の凍結解除をしてほしい。物価高対策をし、かつ賃金を上げてほしい。
- ・現代の状況に合わせて、防衛力の強化をすべき。きれいごとですませてはいけない。"
- ・人的資本を投資対象と見て、人、特に若年層に投資をするスタンスをとり、そのように市場を誘導して欲しいです。具体的には教育に力を入れて欲しいです。また、研究における選択と集中を直ちにやめ、幅広い分野の研究に資金を積極的に投入して欲しいです。
- 国政選挙においても、過半数の有権者が投票しない状況に成りつつある。選挙以外の新しい民主主義の形を模索して行く必要があると考える。また、少子化が進み我々の世代が投票に行ったところで、若者に対する政策を打ち出される期待は持ちにくい。若者の選挙離れも致し方ないのかと思う。あまり政治家に期待出来ない。
- ・自らの利益ではなく国民の利益を重視し、先を見据えた政治を行って欲しい。
- ・昨今の物価上昇や円安に呈して的確な対応をするとともに、外国人受け入れなど、新型コロナの感染拡大を行いつつ経済の回復に努めてほしい。
- ・政府に期待だけではなく、若者の投票率が上がる→若者向けの政策が増えるの流れができてほしい
- ・社会保障をきちんとしてほしい。教育にお金を出してほしい。現状では誰も子どもを産みたいと思えないと思う。
- ・"生きやすい世の中になってほしいなと子供産み育てやすくもなってほしい"
- ・働きやすい社会にして欲しい
- ・"学生が社会人になったときに、働きやすい環境を整えてほしい。また、給料の見直しなどもしてほしい。"
- ・私たち若い世代もしっかり関心をもって関わりたい
- ・政治に積極的に関心の持つということがあまりないため、選挙に投票する際にも何を政策にしているかが分からないと思う。現在は政治学の授業の中で先生が新聞を持ってきて解説して下さるため、何が論点になっているのかある程度は予測を立てることが出来るが、実際に自分だけで今の政治について理解して選挙に投票するのは難しいと感じた。
- ・様々な問題の解決に向け、今までのいい所は残しつつ、新しい何かが必要だと感じる。国会などには若い人や女性の割合が少ないので、若い人や女性の意見も政治に反映されて行けばと思う。
- ・障害者・高齢者・生活困窮者・LGBTQなど生きづらさを抱える人々に対する支援が行き届くような体制を作って欲しい。
- ・与党の安泰を脅かすことが出来るような、国政を担えるような力を持った野党が育ってほしい。
- ・できれば中道にありたいと思う。ただ自分が右な立場なので難しい。これからの政治では日本のためにもっと働いてほしい。いい加減検討で誤魔化さないでほしい。
- ・暮らしやすい世の中であってほしいです。
- ・子育て支援や修学支援など、次世代を担う人々への支援を強化する政策を期待している。
- ・少子化を解決してほしい
- ・まずは政治に関心を持ち知っていくことからやっていきたい。
- ・政治を行う人の平均年齢が下がり、若い人への対策などもっと出てくるとよいと考えている。

- ・近年の世界は、全く予期できないものばかりが社会に大きな影響を与えてきた。そのため、社会自体が柔軟な対応を求められてきていると感じている。だからこそ、これからの社会を安定して動かしていくために、順応力が問われていくと考える。日本政府には、ぜひ柔軟な思考と議論をしてほしい。"
- ・給与増加をするべき。
- ・今を生きる若者が政治に関心を持ってくれば、今後の日本には明るい未来は来ないと思います。どの政権であってもいつも何かに不満を抱えて生きていかなくなると思います。
- ・若者の政治離れは政策がシルバー寄り(投票者割合が高齢者だから仕方ない面もあるが)なものが多く行っても変わらないと思っているのが原因だと思っている。だから、今後高齢社会になるのではないと思ってはいるが、それでも若者世代や子育て世代をターゲットにした政策を他のものと同じに行わないと少子高齢化の歯止めにはならないと思う。また地方創生とはいうが、お金だけ出して地方に丸投げという現状もあるのでそれもどうにかしたほうがいいのかと思う。正直に言って、仕事をしてるのかしてないのかわからない議員がたくさんいるように思える。こんなことなら政治家は半分にすればいいし、そうすれば給料削減になり、政治家内で競争が起き仕事ができる政治家しか残らないようになるからそうすればいいと思うがそうはならない。給料も自分たちで決め、寝てても手紙書いてても発言しなくても給料が発生し、選挙の時にだけ自分の地元(政治基盤があるところ)に帰ってきてニコニコしてまた当選する。こんなような政治はおかしいと思うし、そんなような人を選んでしまっている私たちにも原因があるかもしれないがやはりおかしいと思う。
- ・直接民主制的な政治システムが欲しい
- ・国会の答弁や記者会見などで言葉を濁したりせずに出る出来ないと白黒つけていってほしいと思う。出来ないにしてもそれを納得させる合理的理由があればそこまで非難されることはないのではないのだろうか。
- ・"国会中継などを見ても寝ていたり文句ばかりで、話し合いの場として活用している議員が少ないように感じる。国会内のみで完結するのではなく、国民への説明などを含めて大きい範囲での活動を期待する。
- ・少子化問題についても机上論のみで現実のニーズに応えていないように感じる。実際に兵庫県明石市で行われている活動などを参考にして、より暮らしやすく国民に寄り添った政策を行ってほしい。
- ・メンツを守るのは結構だが、不正事実や非利益などをメディアや下級役人を使ってまで覆い隠すのはやり過ぎだと思う。「国民の代表」という自覚を持って期待に応えてほしい。"
- 教育に対する関心が政治家の人たちは少なすぎるから、教育に対する関心が増えれば若い人からの支持も増えると思う。
- ・国民の意見を、もっと形にしていくこと。
- ・これから社会人になるのである程度は政治に関心を持てるように新聞記事やニュースを読むように心がけていきたいと思った。
- ・不正のない透明性のある議会。議員数削減。居眠りしているだけの穀潰し役立たず議員は歯車の錆である。少子化対策をもっと積極的に迅速に行ってほしい。もっと多くの政治家に、保身のためではなく国の将来を考えてほしい。
- ・教育に対する補償をさらに充実させてほしい。大学はお金がかかりすぎる。
- ・今の若者が一定額の年金を確実にもらえるようにしてほしい。
- ・現在の政治が続く限り、支持はしないと考えている
- ・世代交代

- ・"税金の不正使用に対して苛立ちを覚える。
 - ・日本の扶養手当の103万の壁に疑問を抱く。物価がこれ以上上がるのならば、扶養の金額は改正してほしいと思う。"
 - ・小学校～大学まで教育機関で使うお金を増やしてほしい
 - ・より国民が暮らしやすい社会にしてほしい。
 - ・"議員の高齢な人な為、高齢者へのサービスは行き届く一方で育児や義務教育、保育士などへの待遇が酷く少子化しても仕方ないと言わざるを得ない状況。出産一時金を増やしても産院が値段を引きあげたら意味が無いので入園、入学ごとに一人一人にお金を支援するとか毎月一定額与えられる方がいいと思う。あと賃金が本当に安すぎて社会福祉支援の人が貰うお金に負けてしまったので偉い人達は危機感を持って給料アップと税金を下げることを示して欲しい。このままだと日本は落ちていく一方です。"
 - ・国会にはもっと建設的な意見交換をしてほしい。
 - ・わからないことが多すぎる。
 - ・人が暮らしやすい社会を作るために動いてほしい。
 - ・政治には特に期待できない
 - 特に期待できない
 - ・私たちのような世代が年齢を重ねてもニーズに合った社会保障制度や社会支援を受けることが出来るような財政運営や制度改革を行ってほしい
 - ・自分の世代だけに特化した政治ではなく、将来世代を見据えた持続可能な社会を目指す政治
 - ・コロナと共存するフェーズに入ってきているため、ある程度のコロナ対策は取りつつも経済を回し不景気を脱却してほしい
 - ・もっと若い人の意見も反映される政治になってほしい。
- 日本は間接民主制を採用しているが、十分に民意が反映されているとは思えない。また、親中や親韓にはとどまらない、日本を他国に渡すような公約を掲げている政治家が存在していることとそれを抱えている政党が存在することにも驚きとともに呆れのような感情を抱いている。
- ・"現在の国会や地方の議員は高齢の方がほとんどなため、若い人が参加、活躍できる環境を作って欲しいです。具体的に、選挙に立候補するための供託金の廃止や議員の定年制度の導入です。また、日本の大学生への支援を増やして欲しいと思います。日本の大学生の約半数が、卒業後に奨学金として数百万円の借金を負うことは少子化の要因にもなっていると思うので、支援を増やして欲しいです。"
 - ・若者の政治に対する関心が低いので、もっと政治教育をした方がよい
 - ・将来の若い世代を重視するような政策を打ち出してほしい
 - ・戦争さえしなければなんでもいいです。
 - ・若者の意見を取り入れて年寄りたちよりにならないこと
 - ・"憲法で同性婚についてもう少し改正されたらいいなと思いました。あと、戦争をしない平和な国がいいなと思いました。"

● アンケート調査のまとめ

まとめ

①約6割の回答者が、政治に対して、「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答している(64.2%、233名)。また、「まったく関心がない」という回答は、5%にとどまった(4.7%、17名)。このことから、若者は、「政治に全く関心がない」とは断言できない。

②参議院議員通常選挙に関しては、「とても関心がある」、「ある程度関心がある」の合計が、約53.6%(194人)という結果になっている。

なお、2021年4月実施の「参議院長野県選出議員補欠選挙アンケート2021」の結果では、「とても関心がある」、「ある程度関心がある」の合計が約30%弱であったのに対して、2021年10月実施の「衆議院議員総選挙アンケート2021」の結果では、「とても関心がある」、「ある程度関心がある」の合計が、約55%という結果であった。

これらのことから近年の「国政」レベルの選挙は、約5割程度の回答者が関心を有していることが推察される。

まとめ

③投票時に重視する政策・課題に関しては、多い順番から、「景気や雇用」(57.1%)、「物価高対策」(44.5%)、「少子化対策」(37.6%)「年金など社会保障」(36.3%)、「環境やエネルギー」(34.1%)となっている。

逆に少ない順番としては、「地方の活性化」(20.6%)、「財政再建」(22.3%)、「憲法改正」(26.1%)、「外交や安全保障」(26.6%)となっている(複数回答)。

「景気や雇用」や「物価高対策」が上位を占めた理由は、若者の生活実感と関わる政策としてこれらが位置づいていることによると思われる。なお、後述の通り(問9、問10)、独立質問としては、「日本の防衛力の強化」や「憲法改正の必要性」に関する回答として「賛成」が61%(222人)、「改正の必要性を感じている」が45.3%(164人)いるのに対して、「問5」のように、複数回答を求めた場合、「憲法改正」や「外交や安全保障」は上位にはあがってこない。

若者は、「憲法改正」や「外交・安全保障」といった国の輪郭を方向付ける政策課題より、「景気や雇用」「物価高対策」という生活実感とリンクする政策の方が優先度が高いものとして捉えている可能性がある。

なお、「憲法改正」に関しては、2021年10月実施の「衆議院議員総選挙アンケート2021」の結果(18.1%)と比較した場合、今次のアンケートは26.1%と微増している。

まとめ

④現政権に対しては、「支持している」(21.5%)、「支持していない」(23.1%)、「わからない」(55.4%)となっている。

「わからない」(55.4%)という回答の多さに関しては、若者にとって岸田内閣誕生後に明確な政策転換が生じたと感じられる政策があまりないことから、「なんともいえない」「現状で特定の評価を下すことが困難である」など、一定数の若者が慎重な判断軸を持っているとも捉えることができる。

⑤支持政党に関しては、「自民党」(24.8%)、「立憲民主党」(5.5%)、「国民民主党」(4.1%)が上位を占めたのに対して、「特に支持している政党はない」が56.2%と、若者の多くが「無党派層」であることを改めて印象付ける結果となっている。

まとめ

⑥感染症対策におけるマスク着用に関しては、「これまでのようにできるだけ着用すべき」(37.1%)、「海外のように着用の義務は撤廃していくべき」(23.1%)、「個人の判断にまかせるべき」(36.8%)という結果となっており、「着用義務」と「個人判断」の結果が拮抗している。

⑦防衛力の強化に対する賛否に関しては、「賛成」(61%)、「反対」(19%)、「わからない」(20.1%)という結果となっており、ロシアによるウクライナ侵攻を好例とする社会情勢の変化を受けて、漠然とした不安感から「防衛力の強化」を求める見解が過半数を占める結果を導き出したと推察される。

⑧憲法改正の是非に関しては、「改正する必要がある」(45.3%)、「改正する必要はない」(29.6%)、「わからない」(25.1%)という結果となっており、「改憲論」に共感し得る回答が約半数を占めた。

まとめ

⑨コロナ禍において、若者の多くは、国の政策の方向性が、自分自身の日々の生活に直結することを体感しつつある。

しかし、今次の選挙をめぐっては、政権与党の実績がエビデンスとして可視化されていない点、若者の生活実感として未だインパクトを伴うものがない点、政党間の政策上の争点が明確になっていない点なども影響してか、およそ半数を占める「無党派」層の若者がどのような政策選好を有するかは未知数である。

他方で、ロシアによるウクライナ侵攻を好例とする社会情勢の変化を受けて、若者に限らず多くの国民が体感するに至った不安感の「名宛人」をどの政党に信託するか、マニフェスト比較だけでは政策実行力の多寡を判断しにくい中で、改めて政党の「党是」とは何であるのか、政党のミッション・ビジョン・ストラテジーを理解した上での投票が求められていると言ってよい。

• 質問・お問い合わせ等については・・・

① 荒井英治郎 (earai@shinshu-u.ac.jp)

② <http://kyoushoku.shinshu-u.ac.jp/arai/> の「問い合わせフォーム」

からご連絡ください。